



第947回例会（物故者追悼例会）

8月7日（金） 真福寺

我がクラブでは毎年お盆の時期に物故ライオンの追悼例会を行っている。ここ数年は住職（L・オムラ全教：辞書に無い字なのでかたがたで失礼）がクラブに入会されたので、真福寺で行われている。

今年も1週間早めて8月7日（金）に本堂で物故ライオンの供養を行い、有名な竹膳料理を楽しみつつ、蝉の合唱を聴きながら例会を行った。



荘厳な祭壇の前で物故ライオンの供養の読教をする住職

物故ライオンは24名、最近亡くなられたライオンは2年前のL・永田とL・森お二人ともライオンズの活動に、大変積極的な方で残念であった。



加藤会長を先頭に干支別で二手に分かれ全員が焼香した。目を閉じると物故ライオンの在りし日の姿が目には浮かんだ。



竹膳料理を楽しむ会員
ヘルシーで体に優しいですよ。



供養の勤めを終えた住職（L・オムラ）
お駄賃としてローアの指名を受けた。



第 9 4 8 回例会

8月28日(金) 定例会場

残暑厳しい中、第948回例会が岡崎献血ルーム所長 武井様、「岡崎市児童創意工夫展」葵中学校の児玉教諭並びに「造形おかざきっ子展」竜南中学校の長谷川教諭をゲストにお迎えし、定例会場にて開催された。



ゲストの皆さん。

左から 岡崎献血ルーム所長 武井様

葵中学校の児玉教諭

竜南中学校の長谷川教諭

「岡崎市児童創意工夫展」「造形おかざきっ子展」には毎年助成金を贈呈している。



献血ルーム所長武井様



葵中学校の児玉教諭



竜南中学校の長谷川教諭

献血の現状、保存期間、夏場の需要等詳しく説明された。ただ、献血の条件で献血可能なクラブ員が限られることが問題だ。

「岡崎市児童創意工夫展」について説明していただいた。総理大臣賞をいただいた作品もあるとのこと。物づくりの原点かも。

「造形おかざきっ子展」について説明された。一度はゆっくり見て、子供達の感性を感じて下さい。



L・岡田康孝

8月20日の「中学生の主張コンクール」に出場した20名の代表者全員に、肉筆で励ましの手紙を書いていました。新学期までに届くようにと頑張っています。

「云うはやすし行う難し」

頭が下がります。



前会長、前幹事慰労会

8月21日 岡崎ニューグランドホテル



前会長 L・川口馨と前幹事 L・岡村隆幸の慰労会が岡崎ニューグランドホテルにて開催された。1年間の苦労話やイライラした思い出等愚痴が出るかと思っていたのですが、クラブ会員の協力に感謝する言葉と、クラブに対する思いの高まりの言葉ばかりでした。本当に1年間お疲れさまでした。



40周年記念事業元康像視察会

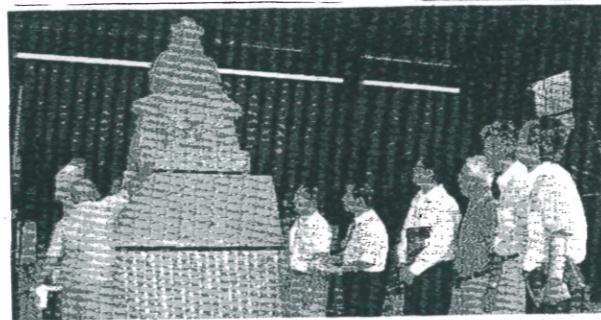
8月21日 (株)前田石材店



40周年のメイン事業である元康像の視察会が実行委員長、担当部長と多数の関係者をお招きし視察会が行われた。70%位の進捗ですが、作者の意向により元康像の顔はお預けです。JR岡崎駅東口のロータリーに設置予定です。(11月下旬)

東海愛知新聞

2009年(平成21年)8月29日(土曜日)第19221号[日刊]



元康の石像完成間近 L 岡崎ライオンズクラブ(加藤賢二会長)が創立四十周年を記念してJR岡崎駅東口ロータリーに設置する石像「松平元康像」の制作現場見学会がこのほど、岡崎市上佐々木町の石工団地内の前田石材店であった。

前田さん(左)の説明を聞く河合住職(石像の右)と加藤会長(同2人目)ら。岡崎市上佐々木町の前田石材店で

見学会には、石像の原型となった木造の元康像を所蔵する岡崎市本宿町の法蔵寺住職、河合秀泰さんと加藤会長はじめ会員、市区画整理課職員らが顔をそろえた。

石像の高さは約一・五メートル、同じ高さの台座の上に載せられる。石

は岡崎市夏山町産の花崗岩を使った。法蔵寺所蔵の木造は高さ五十九・五センチ。家康二十八歳の時の田舎姿とされる。制作者の前田豊さんは「木造の細かい彫りを石像で表現するのに苦労している。木造のりりしい顔立ちを写すことができたと思われ」と自信を示した。

河合住職も「顔立ちが立派にできています。さすが岡崎の石屋さんはいい仕事をされます」と喜んでいました。